

かすや 議会だより

春号

No.180

2026年
5月7日発行

語らいから広がるまちの未来



粕屋町議会ホームページ

特集・“かたらんね”プレミアム2 P2~P5 ・議会が注目したのはこの予算 P6~P7



福岡県粕屋町議会



“かたらんね” プレミアム2開催!!!

～町民と議会で語る 粕屋町の20年後の未来～

令和8年2月11日、粕屋町議会とかすや町を盛り上げる会の共催で、“かたらんね”プレミアム2を開催しました。今回の“かたらんね”プレミアム2では、第1部として、令和6年7月に開催された“かたらんね”プレミアムから寄せられた課題について、これまでの議会の取り組みについて報告を行いました。

あわせて、町内で活動するまちづくり団体の皆さんから活動紹介をいただき、地域でどのような思いを持って活動が行われているのかを共有しました。

さらに第2部では、参加者がグループに分かれ、20年後の粕屋町の姿や地域活動の課題と可能性について意見交換を行うワークショップを実施しました。

会場には、およそ60名の参加者が集い、世代や立場を越えた率直な意見が交わされ、まちの未来を思い、語り合い、粕屋町愛があふれた熱気に包まれました。



議会広報常任委員会
古家委員長 開会あいさつ



末若議長より総評



議会運営委員会
杉野委員長より活動報告

真剣に耳を傾ける参加者の皆さん



Q “かたらんね”プレミアム2はどんな想いで企画されましたか？

A 共催：かすや町を盛り上げる会 小川さん

粕屋町には、それぞれの立場で「町の豊かな未来」を願いながら活動している団体がたくさんあります。けれど実際には、人や資金の課題を抱える団体も少なくありません。

だからこそ、団体同士がつながり、議会の皆さんにも地域活動の現状を知っていただくことで、何か良い循環や新しい可能性が生まれるのではないかと。

わたしたち“盛り上げ”が大切にしている場作りの基本理念である『人とのつながりこそ、まちづくりの礎』その想いを込めました。

第1部 かたらんね! ~まちづくり 団体の活動紹介~

第1部では、議会から、前回の“かたらんね”プレミアムで寄せられた意見を受けて、これまで議会が取り組んできた内容について報告を行いました。

その後、町内で活動するまちづくり団体の皆さんから、それぞれの活動内容や地域への思いが紹介され、会場では、共感や新たな気づきが生まれる時間となりました。

特定非営利活動法人親の学び舎
子ども達はもちろん、保護者同士が安心して集える場を大切にしています。



一般社団法人子ども基地局
体験活動を通じて、粕屋町の将来を担う子ども達の豊かな感性を育てます。



かすやコーラスうたい隊
コーラスを通じての地域の方とつながり、絆を深めます。



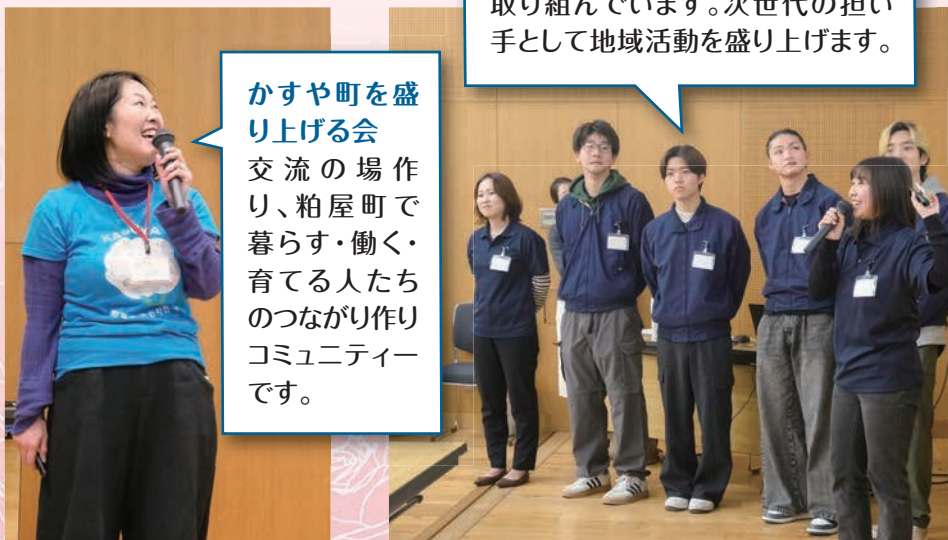
コスモスクラブ (粕屋町知的障がい児(者)親の会)
障がいのある子どもや家族を支え、安心して暮らせる地域を目指します。



かすや駅フェスプロジェクト
イベントを通じて「まちの駅」の活性化、住民と町の事業者の架け橋となります。



粕屋町青年団
若い世代の力で地域の活性化に取り組んでいます。次世代の担い手として地域活動を盛り上げます。



かすや町を盛り上げる会
交流の場作り、粕屋町で暮らす・働く・育てる人たちのつながり作りコミュニティです。

粕屋町商工会女性部
イベントや社会貢献を通じ、地域を元気にする活動を続けています。



特集かたらんねプレミアム2
注目予算
ピックアップ
ピックアップ
挑む議会
一般質問
一般質問
一般質問

第2部 ~ワークショップ~



「20年後の粕屋町のために、今わたしたちができること」

第2部は、参加者がグループに分かれ、町の現状での課題や20年後の粕屋町の姿について熱く語らうこと、あっという間の90分間！

会場では多くの意見が出され、活発な意見交換が行われました。

高齢者の暮らし

「車がなくても生活しやすい町になると助かると思います」
「元気な高齢者が活躍できる場があればいいですね」



まちづくり・地域の力

「若い世代が町の中で働ける場所が増えるといいです」
「もっと気軽に意見を言える場が増え、地域のつながりがこれからより強くなるといいですね」
「町のみんで未来を考える機会は大切だと思いました」



インフラ・安全

「人口が増えると通学路や生活道路の安全が、これからもっと大切になりますね」
「せまい歩道や道路の整備が進むと子どもや高齢者も安心」
「夜道が暗い場所もあるので、街灯が増えるといいな」



子育て・子どもの未来

「子どもが安心して遊べる場所をもっと増やしていきたいですね」
「子育て世代が安心して働きながら暮らせる町であってほしいと思います」



未来の粕屋町

「自然が多い町、20年後も緑が残る町であってほしい」
「特色ある市制化を期待しています」
「粕屋町の魅力をもっと外に発信できたらいい」
「粕屋町っていい町だねと言われたらうれしいです」



暮らし・にぎわい

「粕屋グッズを作ってほしい」
「駕与丁公園を観光地化したい」
「文化や音楽、駅フェスのようなイベントも増えたら嬉しいです」
「道の駅のように、みんなが集まれる場所があるといいですね」

～町民の声をこれからのまちづくりへ～

今回の“かたらんね”プレミアム2では、地域で活動されている団体の皆さんの取り組みや思いに触れるとともにワークショップを通して、暮らしや子育て、地域のにぎわい、インフラなど、さまざまな視点から町の未来について多くの声が寄せられました。

町民の声

- ① **道路について**
 - 交通渋滞の軽減
 - 歩道の整備（登下校を含めて危険な場所がある）
 - 街灯の整備（公園や道、町自体が暗い）
- ② **起業支援策について**
- 公園について**
 - 遊具の設置
 - 駕与丁公園の魅力向上
- 子どもの居場所づくりについて**
- コミュニティについて**
 - 公民館の利活用（地域住民の集まる場所）



かすや町を盛り上げる会
村井さん

開催を終えて・・・

まちづくり活動団体だけでなく、福祉団体、経済団体、社会教育団体、この企画に関心を持っていただいた多くの方が参加してくださいました。

活動紹介では、各団体が企画意図を深くみ取っていただき、会場全体を巻き込んだ温かく楽しい時間が流れ、ワークショップでは、特別支援教育や福祉、都市計画、若者の定着など多様な話題が交わされ、会場には大きな熱気が生まれていました。

立場や分野を越えて語り合うことで、「新しい気づきやつながりが生まれる。」そんな時間を皆さんとご一緒できて本当に幸せです！ありがとうございました。



町の「これから」を考えるうえで、こうした町民の皆さんの率直な意見や思いは、何よりも大切なものです。

今回いただいたご意見や気づきをしっかりと受け止め、今後の議会活動やまちづくりの議論に生かしていけるよう、引き続き取り組んでいきます。

“かたらんね”プレミアム2にご参加いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

議会が注目したのは、この 予算

令和8年度

332億3732万円

対前年度比 **1.0%** ↓



一般会計 町民一人あたり約46万円

224億4100万円

対前年度比 **1.3%** ↓



一般会計が前年度から2億9100万円減少しましたが、小学校の工事が補正で組まれたため、実質は前年と同じ規模になります。

また、特別会計と

企業会計を合わせた予算総額では、3億4391万円の減となります。

財政調整基金から7億9100万円の繰入を計上するとともに、ふるさとづくり基金から3億1290万円を繰り入れます。



特別
会計

71億5183万円

国保・介護・後期高齢者



企業
会計

36億4449万円

上下水道

ふるさと納税・その他

41.2億円

基金からの取り崩し

11.8億円

地方交付税

12億円

町債(借金)

13.7億円

**歳入
一般会計**








町税(税金)

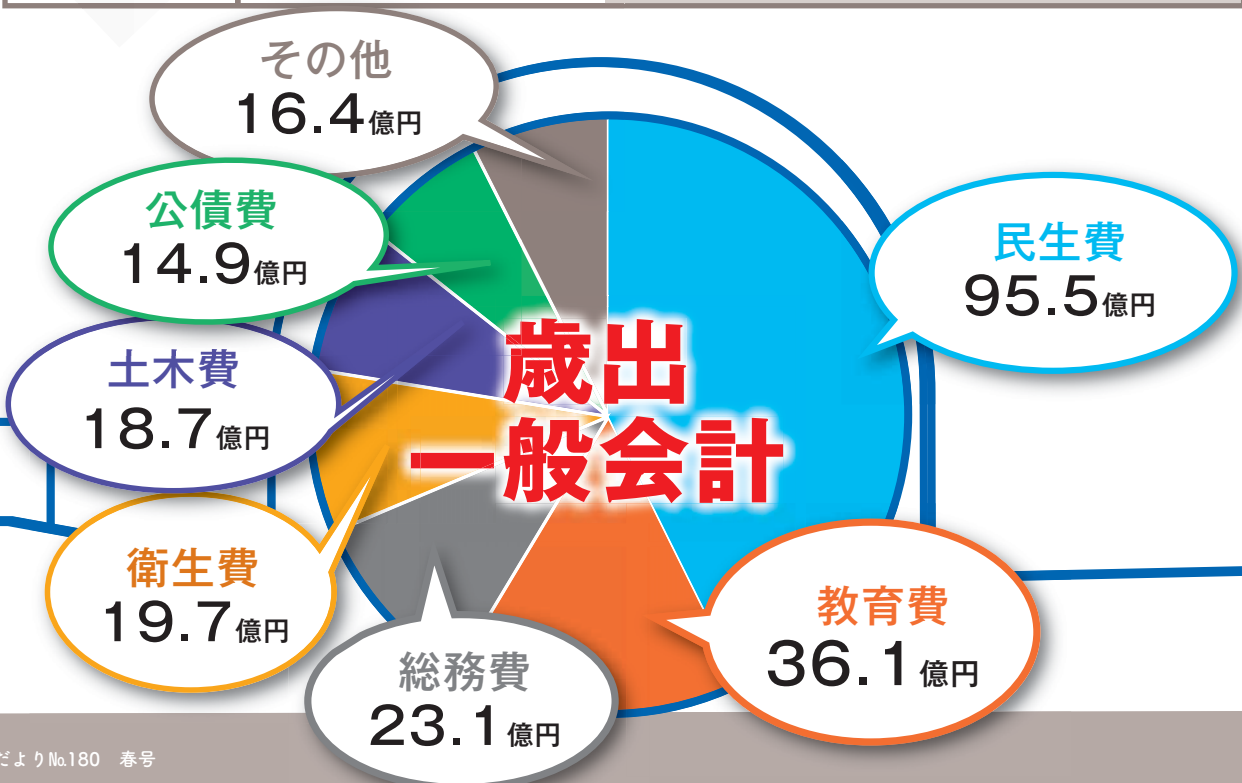
83.8億円

国・県から補助金

61.9億円

令和8年度 重点施策 「今年は何が変わるのか」

| | | |
|---|----------|--------------------------------------|
|  | 1872万円 | こども誰でも通園制度 全てのこどもの育ちの保証 |
|  | 729万円 | 学童保育所増設の改修(トイレ工事) 待機児童の改善 |
|  | 906万円 | 防災マップの策定 防災意識を高める |
|  | 2億9348万円 | 小・中学校給食費の無償化 子育て世代の家計の負担軽減 |
|  | 800万円 | 長者原駅・原町駅周辺のまちづくりビジョン にぎわいのあるまちづくり |
|  | 7億円 | 福祉センターの大規模改修(2年間) 交流の場と災害時の受け入れ |
|  | 1011万円 | 電子投票の導入 投票の利便性向上、開票迅速化 |



議会ピックアップ

令和8年 第1回(3月)定例会

会期は2月26日から3月16日までの19日間で開催しました。
(審議結果は10ページに記載しています。)

令和7年度一般会計補正予算

4億8260万円 増額 

予算総額 241億1717万円

歳出の主なものとしては、小学校施設整備事業が5億9945万円、財政調整基金積立金が6億7251万円増額され、ふるさと納税事業費が1億996万円、定額減税補足給付金給付事業が1億7652万円、ふるさとづくり基金積立金が1億1962万円減額されます。

○小学校施設整備事業 6億2200万円 粕屋西小学校 第1期大規模改修工事費(繰越)

国の交付金不採択により、令和7年度の実施を見送りとしていましたが、国の令和7年度補正予算において交付金が内定しましたので、令和8年3月補正で予算計上し、令和8年度に繰り越しで実施されるものです。



粕屋町議会
YouTube
チャンネル



議会の様々な
情報発信中!!

粕屋町議会 YouTube

検索 

チャンネル登録をよろしくお願いたします。

○請願第2号

(継続審査分) 基幹相談支援センター設置に関する請願

昨年12月定例会に町内の住民団体より提出されていた請願が継続審査となっていました。3月定例会において再度審議した結果、1名退席した中、出席議員全員の賛成で請願を採択することに決しました。

請願の主な内容

- ①「基幹相談支援センター」を設置してほしい
- ②基幹相談支援センターの財源確保と専門性の高い相談支援専門員の体制構築を支援してほしい
- ③設置後も、相談窓口の一元化による住民の負担軽減や行政の効率化が達成されているかについて、継続的に検証・評価し、その進捗状況を住民に定期的に公表してほしい

文教厚生常任委員会では、窓口まで相談に行けず諦めている人たちがいること、虐待や高齢家族の将来への不安など多岐にわたる住民の悩みを役場窓口だけでは拾えていないこと、さらに窓口は民間事業者をあっせんできないため業者一覧を渡し、相談者は自分で事業者を探さなければならないこと、デリケートな距離感を要する相談者の話をただ聞くだけの仕事を役場窓口に求めることではないことなど、審査を進める中で基幹相談支援センター設置の必要性が明らかになりました。

議会の意見 文教厚生常任委員会委員長報告から

この度の採択を受け、行政と議会が連携し、障がいのある方やご家族を支える「切れ目のない支援体制」の構築に向け、運営や財源の調査・検討を加速させていただきます。

広域連携の進展を待つことなくスピード感を持って、町単独での設置も視野に入れ、町民にとっての実効性を最優先に議論を深め、最善の支援の実現に向けて全力で取り組んでいく決意です。

出前

議会意見交換会

5人以上集まれば、議会からお伺いいたします!

テーマは町政に関わることならOK! 議会とお話ししませんか?

申込方法

電話・FAX・郵便・メールにて以下の事項を記載の上、お申し込みください。

- ①団体名および代表者氏名
- ②参加人数
- ③開催希望日時(第3希望までお知らせください。)
- ④開催希望会場(申込者において確保願います。)



お問い合わせ先: 粕屋町議会局 〒811-2392 粕屋町駕与丁1-1-1
TEL:092-938-0161 FAX:092-938-7780 ☑ gikai@town.kasuya.fukuoka.jp

一目でわかる審議結果

令和8年3月定例会に提出されたのは、議案29件、諮問3件、発議3件、請願(継続審査分)1件です。

| 議案番号 | ◎議案名 (わかりやすい文言に置き換えています) | 採決結果 | 賛成(人) | 堀本 高良 | 牟田 直輝 | 川崎 尚子 | 古家 昌和 | 田代 勘 | 杉野 公彦 | 案浦 兼敏 | 福永 善之 | 川口 晃 | 田川 正治 | 小池 弘基 | 本田 芳枝 | 宮崎 広子 | 山脇 秀隆 | 安藤 和寿 | 末若 憲治 | |
|-------|-----------------------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---|
| 18 | 国民健康保険財政調整基金条例の制定 | 可決 | 14 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 25 | 令和7年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第4回) | 可決 | 13 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 27 | 令和8年度 一般会計予算 | 可決 | 14 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 28 | 令和8年度 国民健康保険特別会計予算 | 可決 | 12 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 29 | 令和8年度 後期高齢者医療特別会計予算 | 可決 | 13 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 請願第2号 | (継続審査分) 基幹相談支援センター設置に関する請願 | 可決 | 14 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

○⇒賛成 ●⇒反対 一⇒退席 欠⇒欠席 ※議長は採決に加わりません

討論

議案
27号

「令和8年度 一般会計予算」についての討論

可決

反対
討論

ふく なが よし ゆき
福永 善之

反対の理由は、受益者負担の視点が抜けているから。負担と受益の関係について、行政の持続性に関わる部分と考える。現在、国も地方も「行政サービスを無料にする」という施策に奮起になっているが、その財源をどう確保するのかの視点がない。新しい事業をする場合は、既存の事業を見直せ・削れという原則が必要では。聞こえの良い施策は、今の政治に文句を言えない子どもたちに最終的に負担増をもたらす可能性がある。

賛成
討論

ほん だ よし え
本田 芳枝

昨年11月に策定された町の中期財政見通しの令和8年度版に比較すると、11億円圧縮されているが、町民の要望、公約の実現などさまざまな課題に向き合った予算だ。小学校のみならず中学校までの給食費無償化、学童保育の拡充、電子投票システムの導入、ドローンを使ったスマート農業の推進などの予算を高く評価する。

賛成
討論

た がわ まさ はる
田川 正治

憲法26条義務教育は無償を求め、学校給食の無償化の実現のため、全国の保護者や教育関係者などが、国へ要望して取り組んだことが政府を動かし、小学校の実施が決まり、町は中学校までの予算を提案。本年度の予算には将来を担う子育て支援や、学童保育の教室確保、仲原保育所の移転のための改修、災害避難所のかすやドームの温水洗浄機能付トイレの設置などがある。物価高騰による負担軽減のため実現したい。

以下の議案は令和8年3月定例会にて全会一致で原案通り可決(承認・採択)しました

| 議案番号 | ◎議案名 | 議案番号 | ◎議案名 |
|------|---|-------|---------------------------------------|
| 10 | 専決処分の承認 令和7年度一般会計補正予算(第5回) | 30 | 令和8年度 介護保険特別会計予算 |
| 11 | 有給職員等の旅費に関する条例の一部改正 | 31 | 令和8年度 水道事業会計予算 |
| 12 | 行政手続条例の一部改正 | 32 | 令和8年度 流域関連公共下水道事業会計予算 |
| 13 | 町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正 | 33 | 工事請負契約の締結 朝日団地建替(2期)工事 |
| 14 | 議会の議員及び長の選挙における電磁的記録式投票機を用いて行う投票に関する条例の制定 | 34 | 工事請負契約の締結 中央小学校体育館第2期大規模改修工事 |
| 15 | 国民健康保険税条例の一部改正 | 35 | 町道路線の認定 |
| 16 | 重度障がい者医療費の支給に関する条例の一部改正 | 36 | 住居表示の実施に伴う字の区域及び名称の変更 |
| 17 | 手数料徴収条例の一部改正 | 37 | 県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び組合規約の変更 |
| 19 | 介護保険条例の一部改正 | 38 | 令和7年度 一般会計補正予算(第7回) |
| 20 | 家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正 | 諮問第1号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること(井上 泰博氏) |
| 21 | 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部改正 | 諮問第2号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること(長 義則氏) |
| 22 | 特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定 | 諮問第3号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること(大庭 由美氏) |
| 23 | 令和7年度 一般会計補正予算(第6回) | 発議第1号 | 議会局設置条例の一部改正 |
| 24 | 令和7年度 国民健康保険特別会計補正予算(第5回) | 発議第2号 | 議会会議規則の一部改正 |
| 26 | 令和7年度 介護保険特別会計補正予算(第4回) | 発議第3号 | 議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 |

粕屋町議会
イメージ
キャラクター
「かすかモ」



右の二次元コードより本会議の様子をホームページでもご覧いただけます。

▶ 定例会
開会日



▶ 定例会
閉会日



令和8年 第1回(1月)臨時会

令和8年1月21日に開催しました。

令和7年度一般会計補正予算

6億901万円 **増額** 

総額 236億1380万円

○物価高騰対策支援事業(生活者・事業者支援) 3億2984万円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援することを目的として、地域商品券が全町民に配布されます。

- ・名称:かすやエール商品券
- ・対象者:令和8年2月1日現在で粕屋町に住民登録している方
- ・支援額:一人当たり6000円(電子商品券)
- ・配布方法:簡易書留郵便により世帯分をまとめて送付
- ・配布時期:令和8年3月下旬～5月下旬(予定)
- ・使用期間:令和8年4月1日から令和8年8月31日まで

○物価高対応子育て応援手当支給事業 2億426万円

物価高の影響が長期化しその影響が様々な人々に及ぶ中、特に、その影響を強く受けている子育て世帯を力強く支援し、我が国のこどもたちの健やかな成長を応援する観点から、物価高対応子育て応援手当が支給されます。

- ・対象者:児童手当支給対象児童(令和7年9月30日時点)を養育する父母等
- ※対象児童には、令和7年10月1日以降令和8年3月31日までに生まれる新生児も含む
- ・給付額:こども一人当たり一律2万円
- ※高校生年代まで原則「プッシュ型」で支給

一目でわかる審議結果

令和8年1月臨時会に提出されたのは、議案9件です。

以下の議案は令和8年1月臨時会にて全会一致で原案通り可決しました

| 議案番号 | ◎議案名 | 議案番号 | ◎議案名 |
|------|------------------------------|------|----------------------------|
| 1 | 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正 | 6 | 令和7年度 国民健康保険特別会計補正予算(第4回) |
| 2 | 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正 | 7 | 令和7年度 介護保険特別会計補正予算(第3回) |
| 3 | 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 | 8 | 令和7年度 水道事業会計補正予算(第3回) |
| 4 | 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正 | 9 | 令和7年度 流域関連公共下水道会計補正予算(第1回) |
| 5 | 令和7年度 一般会計補正予算(第4回) | | |

右の二次元コードより採決の様子をホームページでもご覧いただけます。

臨時会



議会

第2回 議会モニター(CCP)会議

CCPの方とワークショップ開催

『市制を踏まえたまちづくりと
新たな観光資源発掘に関する意見交換』

グループ① 観光まちづくり

グループ② 九大農場跡地のまちづくり

グループ③ 子どもの遊び場まちづくり

3グループに分かれ、モニターと議員が、
粕屋町の未来を熱く語る時間となりました。



全国各地から視察にお越しいただいています

やはば
岩手県矢巾町議会 有志の皆さま

実施日 令和8年1月29日

議会改革について

- ・ 議会サポーター制度
- ・ 議会報告会及び出前議会意見交換会
- ・ 小・中学校議会体験会等について 等
説明・質疑応答を行いました。



大阪府岬町議会の皆さま

実施日 令和8年2月10日

議会改革について

- ・ 粕屋町議会基本条例の制定及び目的
- ・ 基本条例の達成度の検証
- ・ 政治倫理条例等について 等
説明・質疑応答を行いました。



挑む

議員研修会の実施

『議員の学びは、住民福祉への責任である。』

実施日 令和8年1月22日・23日

テーマ 「粕屋町の実施している政策を踏まえた期待される粕屋町議会の役割について」



一般社団法人
地方公共団体政策支援機構
わたなべ たいき
上席研究員 渡辺太樹氏



今までの議会は執行部から依頼された審査・議決を行ってきた議会が多く、まさに「受け身」の状態だったが、今、求められている議会とは、議会／委員会が自ら課題を設定して「能動的」に課題定義・政策提案・公聴活動を行っていくべきとのことでした。今後、さらにギアを加速させ「提案型議会」へと進化していきます。

一般質問は、議員個人が町政全般に関わる事項を大所高所から質問を行う重要な活動の一つです。だからこそ、執行部と建設的な議論を重ね、効果的な質問を行う必要があります。

また、議会審議でもっとも重要な当初予算審議において、より内容の充実した審査を行うことを目指し、改めて、地方財政の仕組みについてご教示いただきました。

実施日 令和8年2月4日

テーマ (1)「役所を動かす一般質問」
(2)「地方財政の仕組み」



地方議員研究会
統括コンサルタント
はつかいち
元廿日市市副市長
かわもと たつし
川本達志氏



実施日 令和8年2月10日

テーマ 「委員会中心主義を基本とした政策形成サイクルについて」



大正大学 地域創生学部
公共政策学科
えとう としあき
教授 江藤俊昭氏



昨今の地方議会は、監視機能やチェック機能だけでなく、提案型の議会(政策形成機能)が求められています。住民の皆さんの意見をどう議会として形にできるのか。各所管を担当する常任委員会で議論する必要があります。「議会の質は委員会の質」このテーマの下、政策形成する体制の構築に向け、研修会を実施していただきました。

総務建設常任委員会

粕屋町商工会青年部との意見交換会

実施日 令和8年1月17日

参加人数 20名(青年部11名、議員9名)



広聴活動の一環として、地域経済の現状や課題を共有するため、商工会青年部との意見交換会を開催しました。

地域の事業者を取り巻く経営環境や人手不足、地域活性化に向けた取り組みなどについて、幅広い意見が交わされました。商工会からは、中小零細事業者が抱える課題や支援の必要性について具体的な声が寄せられ、議員からも今後の施策について意見が出されました。

今回の意見交換を通じて、地域経済の活性化に向けた課題を改めて共有することができました。今後も関係団体と対話を重ね、地域の声を議会活動に生かしていきます。

議会広報常任委員会

広報コンクールで2度の受賞、全国的に評価の高い福岡県添田町議会を視察

実施日 令和8年2月6日

参加人数 8名(議員)

研修費用 59301円



「伝わる」工夫と住民の声が主役の議会に

添田町議会では「中学生でも分かる」を合言葉に、2年で全議員が入れ替わり広報活動を分担、マニュアル化による徹底した品質管理で広報紙の高い質を維持。意見交換会「カタリ場～未来会議～」を通じ、住民の声を政策につなげる「双方向の対話」を形にされていました。

この学びを生かし、「対話」を軸とした広報広聴改革をさらに加速させます。図解とデザインで「読みやすさ」を追求し、SNSで若年・子育て世代の「今」とつながる。そして多様な意見を丁寧に「聴く場」を作り、着実に政策へ反映していきます。

「伝える」から「伝わる」へ。全議員一丸となり、開かれた議会への変革を進めていきます。

おめでとうございます

ふくながよしゆき
福永善之議員が町議会議員として在職15年に達し、議会活動を通じ地方自治の発展のために大きな役割を果たしていることにより、全国町村議会議長会および福岡県町村議長会から表彰されました。

現在52歳の私。出身の熊本県から粕屋町に移り住んだのは、28歳の時。選挙に初めて出たのは、34歳で町の議員補欠選挙。落選。36歳の時に初当選。今後の人生、後で後悔しないよう、自分に正直に生きています。
(本人コメント)



町政を問う 一般質問

令和8年3月
2日～3日実施

粕屋町では会期の始めに行っています。議員は町政全般にわたって、町長など執行機関の考えを問いただします。

質問の内容は事前に通告し、持ち時間 60分の範囲で1問1答※で行います。

※質問、答弁を理解するまで繰り返す方法

記事は会議録に基づき、議員個々の原稿を議員責任の下に掲載しております。また写真なども議員提出によるものを掲載しています。詳細は会議録【ホームページに掲載】をご参照ください。

掲載は
質問順と
しています。

P16 宮崎 広子 議員

- ① 給食費無償化で町を選んでもらう展望は

P16 山脇 秀隆 議員

- ① 幸福度をどのように施策に反映させるのか

P17 福永 善之 議員

- ① 中学校の給食費無償化、なぜ今年度なのか

P17 川口 晃 議員

- ① 家族従業員の働き分の経費認定要請を
- ② こどもデータ連携事業の取り組みは

P18 田川 正治 議員

- ① 弁当持参の場合は保護者に費用を
- ② 仲原保育所の移転と予算化は

P18 田代 勘 議員

- ① 消防団員確保に向けた覚悟と方針は

P19 本田 芳枝 議員

- ① 優先順位を付ける運用は条例の趣旨の逸脱では



みやざき ひろこ
宮崎 広子 議員

動画はコチラから



給食費無償化で町を選んでもらう展望は

町長

選択される自治体の一つの大きな要因と推測

宮崎

中学校給食費の財源は物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用するということが、本年度だけの活用なのかその財源は。

財政課長

本年度は交付金を活用するが継続されなければ、原則として一般財源での対応となるかと思う。

宮崎

この取り組みに、粕屋町を選んでもらう町・住み続けたい町としての展望は。

町長

町は子どもが多く生まれ多く育っている。子育て支援が一丁目一番地の政策で、そのことが、選択される自治体の中の一つの大きな要因となると推測している。

宮崎

子育て支援や学校教育にもたくさんのお金をつぎ込んでいく。しかし、人口の移動率では出ていく方も多い。住み続けてほしい町として、次の手を打つことを考えていかなければならない。町長の考えは。

町長

住み続けたい町の要素は非常に多い。自然環境が充実している、憩いと潤いのあるまちづくり。公園や児童遊園で遊べる、駕与丁公園のような大きな公園でスポーツを楽しむような環境も住み続けたい町の要因だろう。新生・かすやプランの中でも、企業誘致や住環境の提供を同時並行で追記している。そこから生み出される財源を住民サービスに使えることを考えながら施政方針に述べている。今回の中学校の給食費無償化は一般財源を入れてまで大事だといつことを国にアピールしたい。

その他の質問

● 高齢者が生き生き元気に過ごすまち健康寿命の取組について



やまわき ひでたか
山脇 秀隆 議員

動画はコチラから



幸福度をどのよう施策に反映させるのか

総合政策課長

幸福度を偏差値として可視化する

山脇

第6次総合計画と施政方針に基づく、町の幸福度、ウェルビーイングをどのように数値化し施策に反映させるか。

総合政策課長

住民アンケートと国の全国調査を基にウェルビーイング指標を偏差値化し、他自治体との比較で進捗を管理する方針。幸福感という極めて主観的なものを統計的な偏差値として可視化する。

山脇

市制施行に向けた財政シミュレーションの進捗は。

財政課長

市制施行後の事務経費増加の試算はまだ行われていない。

山脇

ふれあいバス廃止後の地域公共交通(のりーと粕屋)における評価と改善策は。

都市計画課長

高齢者の利用状況は、スマホ予約が負担との声あり。電話予約は、28%。70歳以上の利用が56%。

町長

ミーティングポイント(乗降場所)163か所あるが、今以上に増やしていかないといけない。逆にビルドアンドスワップで、利用が少ないような場所については廃止していくことも検証しながらやっている。

山脇

BPR業務改善による、事務効率化の進捗は。

総務部長

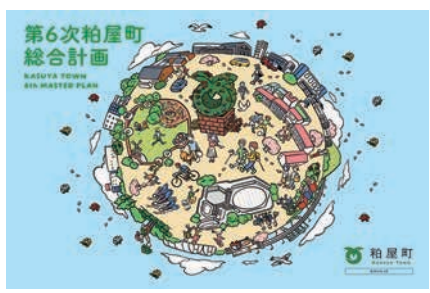
行政評価において、客観的な事務事業の検証を行い、継続的に業務改善する仕組みを構築したい。

山脇

九州大学農場跡地の開発(環境配慮型まちづくり)をどう行うか。

副町長

環境配慮基準を条例化するかどうかは、今からの検討課題。





ふくなが よしゆき
福永 善之
議員

動画はコチラから



中学校の給食費無償化、なぜ今年度なのか

町長

人口流出を抑制し、経済の好循環を

福永

令和8年度、町長の施政方針では中学校に対し、町単独で給食費を無償化するとある。①この施策は、子育て支援か、少子化対策か。②この施策の意義は。③なぜ今年度実施なのか。④この予算措置は今年度限りか、恒久的か。

町長

①子育て支援だ。この施策は家計の負担が減り、ゆくゆくは少子化対策に通じる。

給食センター所長

②教育の一環であり、給食を通じて子どもの健やかな成長を図ると考える。

財政課長

③今年度は国が小学校への無償化を進めており、いずれ中学校への検討がなされるとの情報もある。また、福岡市が既に無償化をうたっており、人口の流出を抑制



かわぐち あきら
川口 晃
議員

動画はコチラから



家族従業員の働き分の経費認定要請を

町長

町長会でもテーブルに上げたい

川口

所得税法第56条は、白色申告の家族従業員の働き分を経費として認めていない。国連の女性差別撤廃委員会は2024年に、「家族経営企業、農山漁村の女性について、所得税法第56条の改正」を勧告している。

町として、政府に、家族従業員の働き分を経費として認めることを強力に要請してもらいたいが可能か。

町長

その辺りの認識は、町長会全体ではまだない。町長会でもテーブルに上げたいと思う。

こどもデータ連携事業の取り組みは

こども家庭センター課長

町では実施していない

川口

令和3年12月の閣議決定は、「住民に身近な地方自治体において、個々のこどもや家庭の状況や支援内容などに関する教育、保健、福祉などの情報を分野、横断的に連携、集約するデジタル基盤を整備し、情報分析し、支援に必要なこどもや家庭のSOSを待つことなく、能動的なプッシュ型支援を届けられることができる取組を推進する」と決定しているが、こどもデータ連携事業の町での取り組みは。

現在、町では実施していない。

データはあくまで、寄り添いが必要な方を見つけ出すための入り口であり、自動的な抽出は行っていない。こども家庭センターを中心に、いくつかの関係機関の場を密に、情報共有を図るアナログな連携体制を構築している。

その他の質問

●こどもNISAの活用について

特集かたらんねプレミアム2

注目予算

ピックアップ

ピックアップ

挑む議会

一般質問

一般質問

一般質問



たがわ まさはる
田川 正治
議員

動画はコチラから



弁当持参の場合は保護者に費用を

給食センター所長

交付金は個人でなく自治体支援

田川

学校給食の無償化は保護者の要望もあり、私は一般質問してきました。今回、国が実施することになったが、アレルギーなどで給食を食べることができない、弁当持参の場合は保護者に費用を渡すべきでは。

国の交付金は学校設置者への支援を想定しており、個人ではなく自治体への支援だ。

仲原保育所の移転と予算化は

こども未来課長

令和9年4月から新しい園舎で保育

田川

老朽化した仲原保育所の移転

田川

を含む予算化、3歳未満児の保育料の無償化や多子世帯への保育料の軽減、保育士の配置基準を取り入れた乳幼児と保育士の保育体制、保育士を確保するための処遇改善は。

仲原幼稚園を0歳児から5歳児までに対応した保育園に改修して、移転するところまで予算を計上している。

現在のところ令和9年4月1日に新しい園舎で保育できるように進める。

3歳未満児の保育料無償化は財源確保の問題があり、予算計上は今回していない。

多子世帯への保育料の軽減については、県が行う第3子無償化を活用して、令和8年度も取り組む予定だ。

保育体制の改善は、現状でも既に配置基準を満たしている。

保育士確保のため、令和7年度から処遇改善の二環として保育士の家賃補助を開始しており、継続して補助を行う。

こども未来課長



たしろ さだおか
田代 勘
議員

動画はコチラから



消防団員確保に向けた覚悟と方針は

町長

災害時、大きな防災力となるのは消防団だ

田代

団員の減少により、地域防災体制に支障が出ていないのか。また、将来的に支障が顕在化する恐れがあるのでは。

重要な課題として認識している。消防団の結束力や効率的な活動体制を構築することで、地域防災体制の役割を果たしている。引き続き、防災体制の質を維持するため、支援や充実に努め、地域住民と連携を図り、地域防災力を高めていく。

地域共創課長

田代

団員確保に向け、実効性のある対策として、今後どのような改善や見直しを行っていくのか。

地域共創課長

若年層が興味を持てるよう、募集内容等に工夫を凝らしてい

地域共創課長

く。また、消防団の重要性を発信し、理解と関心を高めて団員確保につなげたい。

田代

新制度の導入や形態の見直しの考えは。

総務部長

機能別消防団制度、家賃補助や移住支援など、実施していくのも一つの案であり、検討していきたい。消防団幹部とも、協議を重ね、制度を拡充していきたい。

田代

団員確保を地域防災の根幹と位置付け、今後どのような覚悟と方針で取り組むのか。

町長

災害時、大きな防災力となるのは消防団だ。団員確保が消防力の維持につながり、強力な消防体制が完成できると考える。災害時に消防団の活躍が真に貴重だが、団員には生活や仕事があるため、負担に配慮した消防団活動の在り方について、今後、消防団幹部や歴代団長の方々と協議を重ね、検討していきたい。



ほんだ よしえ
本田 芳枝 議員

動画はコチラから



優先順位を付ける運用は
条例の趣旨の逸脱では

教育部長

優先順位を
付けるべきかと考える

学童保育の令和8年度募集要
項に「待機者が増えているので
基本的に低学年の入所を優先し
ており、3年生以上は入所を
待っていたり傾向にある」と
あった。これは粕屋町放課後児
童健全育成事業の設備及び運営
に関する基準を定める条例第5
条の趣旨に沿っていないのでは。

本田

教育部長

就学児童の1年生から6年生
までを預かりの対象にしている
が、待機をお願いする場合がど
うしても生じ得るということを
募集要項に記載して事前説明に
努めている。

本田

町は待機児童数が令和2年よ
りずっと50名を超える状態が続
いており、しかも県内トップ。こ
の状況の中で何年もこういつた
表記が募集要項にあるというこ
とは、条例に規定のない優先順
位を募集要項により運用してい
るのではないかと考える。町の見
解は。

教育部長

待機が出る際には、優先順位
を付けて点数化し、優先の方か
ら入ってもらって、点数の低い方
は待ってもらって、むしろそうすべ
きかと考える。

本田

今回予算拡充ということであ
り、少
しホッとしているが、学年で制限
をかける内容を募集要項に記す
のではなく、行政の仕事はその
状況が続かないようにすること
ではないか。

教育長

丁寧の説明するためにこうい
う記載は必要なのかなと思っ
ている。

編集後記

No.180号(春号)お手にとっていただきありがとうございます。

粕屋町は1956年3月に町政を施行して以来、今年で70周年を迎え、節目の年に記念イベントも開催されます。粕屋町を「もっと町内外を問わず多くの方に知ってほしい」、「もっと好きになってほしい」という町の思いが表れた新しい取り組みの新年度予算内容と感じました。

粕屋町議会YouTubeチャンネル・出前議会意見交換会などを通じ読者の皆さまとのふれあいから今後の議論の活性化にもご期待ください。 かずひさ

お知らせ

次回 6月議会は・・・

6月5日(金) 9:30 開会(予定)

6月8日(月) 9:30 一般質問(予定)

.....
議会は、手続き不要で傍聴することができます。
傍聴を希望される方は、役場3階にお越しください。



あなたのモラルで、助かる「命」があります

©2011 NPO法人はあとスペース



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。

発行：粕屋町議会 編集：議会広報常任委員会 〒811-2392 福岡県糟屋郡粕屋町駕与丁1-1-1 TEL：092-938-2311(代)

委員長：古家昌和／副委員長：川崎尚子／委員：山脇秀隆・小池弘基・安藤和寿・杉野公彦・牟田口直輝・堀本高良
発行責任者：議長 末若憲治 印刷：久野印刷株式会社

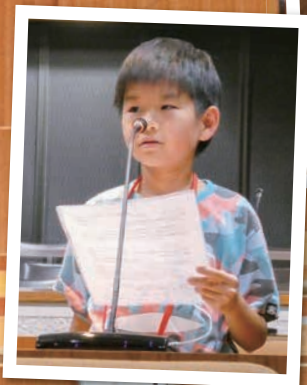
小・中学生

議会ってなんしようと?!

議会体験会

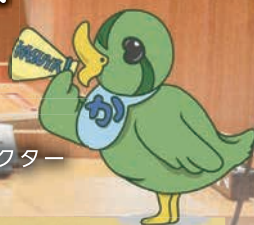
主催：粕屋町議会

キミも未来のリーダー！ 1日町議会議員にチャレンジ！



議会
カモン!

粕屋町議会
イメージキャラクター
「かすカモ」



※当日、記録用の写真を撮影し、議会だよりや次回体験会のお知らせなどに活用させていただきます。あらかじめご了承ください。

日時

令和8年8月21日(金曜日) 14時から15時30分

場所

粕屋町議会(役場3階)

対象

町内在住の小学4・5・6年生(保護者同伴)および中学生
※保護者の方も一緒に見学していただけます

定員

先着16人

体験会の内容(予定)

- 議会ってなんしようと?～町議会の役割のお話～
- チャレンジしよう ～町議会クイズ～
- 議会を体験しよう ～ミニ議会～
- 議場で記念撮影

お申し込み方法

参加ご希望の方は申し込みフォームからお申し込み下さい。
<https://shinsei.pref.fukuoka.lg.jp/JZmWjiPJ>

お申し込み期限

令和8年8月16日(日曜日)

お問い合わせ先

粕屋町議会局
〒811-2392 粕屋町駕与丁1-1-1
TEL:092-938-0161
✉ gikai@town.kasuya.fukuoka.jp



申し込みフォーム